

# 「市町の意向重視」

知事  
会見 **がれき受け入れで**

東日本大震災のがれき受け入れについて、鈴木英敬知事は十四日のぶら下がり会見で、「今週から週明けに国から要請文が到達す

一定の判断に地域の皆さんの理解があるかどうかを加味されるべきと思う。賛成、反対を言う立場でない」とした。

る。市長会と町村会の意向を加味して判断したい」と述べ、「市町の意向を重視し、今はオープンにできることはない」とした。また、仮定の話としながら、「がれきの受け入れでは、基準や処理手順、検査などで、県が果たさなくてはいけない役割はたくさんある」と話した。

十五日の上京では、電源開発（J-POWER）の北村雅良社長と面談し、紀伊半島大水害で氾濫した相野谷川の洪水対策として、上流部のダム操作について話し合うとした。また、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）を訪れ、あらためてメタンハイドレートの試掘海域の呼び方を「志摩半島沖」に変えるよう要請すると述べた。

定期検査で停止している福井県おおい町の関西電力大飯原発三、四号機の再稼働については、「安全性の